全国ほんもの体験ネットワーク
全国教育民泊協会　加盟地域

一般社団法人　南知床標津町観光協会
〒086―1653　北海道標津町南3条西1丁目1―6
☎0153―85―7226

一般社団法人　久慈市ふるさと体験学習協会
〒028―0051　岩手県久慈市川崎町1―1
☎0194―75―3005

NPO法人　体験村・たのはたネットワーク
〒028―8402　岩手県田野畑村北山149―10
☎0194―37―1211

越後田舎体験推進協議会
（公益社団法人　上越観光コンベンション協会）
〒942―0004　新潟県上越市西本町4―18―12
☎025―543―2777

一般社団法人　秩父地域おもてなし観光公社
〒368―0032　埼玉県秩父市熊木町9―5
☎0494―26―6260

株式会社　南信州観光公社
〒395―0001　長野県飯田市座光寺3349―1エス・バードE棟2F
☎0265―49―4737

一般社団法人　COLORsプラス
（若狭路はあとふる体験）
〒919―1131　福井県美浜町木野21―4―1
（（株）旅工房内）　☎0770―32―2222

一般社団法人　近江日野交流ネットワーク
〒529―1698　滋賀県日野町河原1―1
☎0748―52―6562

甲賀市都市農村交流推進協議会
（甲賀市農業振興課）
〒528―8502　滋賀県甲賀市水口町水口6053
☎0748―69―2192

ただいまステイ東近江運営委員会
（東近江市観光協会）
〒527―0023　滋賀県東近江市八日市緑町25―4
☎0748―29―3920

一般社団法人　大和飛鳥ニューツーリズム
〒634―0012　奈良県明日香村島庄5
☎0744―54―1525

一般社団法人　南紀州交流公社
〒649―2523　和歌山県白浜町安居306―1
☎0739―53―0055

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所）
〒730―8510　広島県広島市中区基町5―44
☎082―555―8081

一般社団法人 南阿波観光局 教育旅行推進室
〒775―0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村14
☎0884―72―2622

一般社団法人　そらの郷
〒778―0005　徳島県三好市池田町シマ995―1
☎0883―76―0713

一般社団法人　幡多広域観光協議会
〒787―0014　高知県四万十市駅前町10―20
☎0880―31―0233

一般社団法人　八幡浜市ふるさと観光公社
〒796―8501　愛媛県八幡浜市北浜1―1―1
☎0894―22―0855

一般社団法人　まつうら党交流公社
〒859―4778　長崎県松浦市御厨町田代免601
☎0956―41―7171

五島市体験交流協議会
（株式会社　ＪＳＨ）
〒853―0005　長崎県五島市末広町3―4
☎0959―76―3600

北きりしま田舎物語推進協議会
（小林まちづくり　株式会社）
〒886―0008　宮崎県小林市本町16
☎0984―22―3020

沖縄体験ニライカナイ
〒904―0416　沖縄県恩納村山田3111
☎098―964―1616

オピニオン

感動の旅を提供します

今年は、大阪・関西万博が行われており、関西への注目度が高い。それは同時に、一般客やインバウンドの増加を意味している。そうでなくても、京都、大阪、東京等のオーバーツーリズムは深刻度が増している。

教育旅行において、長年続いている関西からは首都東京へ、関東からは千年の古都京都へ行き、見聞を広めることは意義があった。1959年、初の修学旅行専用電車となる「ひので」「きぼう」が運行を開始した。修学旅行でしか遠くへ行ける機会がなかった時代である。

その後、新幹線に変わって、今も修学旅行専用列車はまだ運行され続けている。しかし、現在は鉄道網が発達し、とりわけ、新幹線は「のぞみ」だけでも1時間に10本程度も運行され、東京と京都間は2時間余りの速さである。

そして、社会も大きく変わった。金閣寺も、清水寺も、ユニバーサルスタジオジャパンも、雷門も、スカイツリーも、ディズニーリゾートも行きにくい地域ではなく、最も行きやすい場所ともいえる。

修学旅行は今の時代が求めている非認知能力、社会性、SDGs、探究学習など、観光地では得られない教育課題に立ち向かい、教育効果が顕著な体験交流が求められている。とりわけ、人と人が直接会ってのコミュニケーションを通じて人間関係構築の能力を高めるなど、生徒時代に養われるべき大きな教育課題である。

修学旅行は今、歴史的な神社仏閣やテーマパーク等から大きく変化すべき時が来ている。この特集で紹介する地域は、すでに四半世紀に及ぶ地域もあるなど多くの実績があり、安全、安心な受け入れ態勢を整備するため、さまざまな分野の教育研修を実施している。

その上で、多くの課題解決に大きな効果があることが実証されている教育民泊を受け入れており、さらには、平和学習や防災学習、アウトドアスポーツアクティビティや農林水産業体験、郷土食材でつくる味覚体験、伝統工芸に伝統文化体験などを整備している地域でもある。

修学旅行で計画されなければ、一生涯訪れることがない地域になるかもしれない。そんな地域に、ゆっくりじっくり滞在し、さまざまな体験から深い学びにつなげてほしい。そして、中学生時代の生きた証となるような感動の旅を提供したい。

この特集紙面で紹介している地域、および全国ほんもの体験ネットワーク、全国教育民泊協会に加盟している地域（左記に一覧表）をご利用いただき、生徒の人生において意義深い修学旅行にしてほしいと願っています。

全国ほんもの体験ネットワーク
会長
全国教育民泊協会会長
株式会社体験教育企画代表取締役
藤澤　安良

探究学習とキャリア教育を

北海道・標津

北方領土の平和学習と民泊、鮭の聖地体験

【知床の自然環境・産業・食・平和学習・歴史文化】　世界自然遺産知床の南に位置する当町は、海、山、川、大平原のあらゆる資源に囲まれ、1万年の間、人々が暮らし続けている痕跡が残る唯一の地域。北は秘境、知床国立公園の山々が連なり、東の海岸から24㌔先に北方領土国後島が望め、内陸にはミルクの里の雄大な牧草地群が広がっております。1万年続く暮らしを体感する歴史文化に基づく地域ストーリーを軸に、地域の人々の暮らしに触れる教育旅行の受け入れを行っております。

【食と産業への理解を深める】　国内初となる食の安全・安心供給システムを水産業における「地域ハサップ」生産活動をプログラム化し、学習素材として提供しています。製品検査だけでなく原材料の生産から加工・流通に至るまでの全工程であらゆる危害の発生を分析し、その危害が起こらないように工程中の重要な管理点を監視するシステムを当地ではイクラや新巻鮭作り体験などを通し、学びを深めていただいております。

【平和学習　北方領土問題を知り考える】　終戦直後、旧ソ連軍が千島列島を侵攻し、北海道の間近までやってきたこと、北方四島に住んでいた約1万7千人の人々が着の身着のままで島を追われた史実については、あまり知られていないのが国内的な現状です。そして島で暮らしていた元島民の高齢化に伴い、引き揚げ当時の様子などその真実を直接聞くチャンスが年々難しくなっております。世界各地の戦争も他人事ではいられない日本は、今一度、戦争を知らない若い世代に伝えるべきことがあります。オリジナルの学習プログラムを併用した「事前学習―講話・グループワーク―事後学習」を通して、北方領土問題や平和を考える体験は、日本の領土が間近に見える当地ならではの平和学習プログラムです。

【日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～】　文化庁では、日本の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として認定しています。標津町、根室市、別海町、羅臼町の4市町に住む人々は、鮭と密接な関わりを持つ歴史を歩んできました。2020年6月19日、人と鮭の関わりの歴史を語る4市町のストーリー「鮭の聖地」の物語として日本遺産に認定されました。当町には、約4400個を超える古代の竪穴住居跡の無数のくぼみが連なり、日本最大の遺跡群「標津遺跡群伊茶仁カリカリウス遺跡」が形成されています。遺跡からはあらゆる時代の竪穴から大量の鮭の骨が出土され、この地が毎年鮭を求めて各地から人々が集まる集積地だったことが分かっており、自然との長い共生を今に伝えています。「鮭の聖地」の物語の地域ストーリーを体感するプログラムを通して、より地域への学びを深めます。

【平和学習と教育民泊受け入れの推進】　当町では、約25年間、自然・産業・歴史・平和を素材としたエコ・ツーリズム事業を展開してきました。今後はより一層、探究学習やSDGsの取り組みが求められています。「鮭の聖地」の物語は1万年の人々の暮らしそのもの。各家庭（酪農家・漁家・一般家庭）での民泊で、現地の人と豊かな自然の中で共に暮らして交流を深めることで、生徒の「人間関係構築能力」や「コミュニケーション能力」を高めることができます。また、「食育、産業・地域、歴史文化、命の教育、生活規範・社会性」について学び、地域の持続可能性や生徒自身の生き方や将来のキャリアについて考えることができます。当町は探究学習や教育民泊の取り組みを深化させ、「観光SDGs」を推進していきます。

原始河川、ポー川でのカヌー体験

新巻鮭づくりを体験

北方領土学習講話

地元の食材を使った昼食を提供

けさのさけ　北海道標津町　鮭の聖地一万年の源流
一般社団法人
南知床標津町観光協会
〒086-1653　北海道標津郡標津町南3条西1丁目1-6
TEL　0153-85-7226　FAX　0153-85-7227
URL　https://www.visitshibetsu.com/

埼玉県・秩父地域

都心から90分、民泊家庭は80軒
東京に「ちかいなか」秩父

埼玉県の秩父地域は、東京都心から約80㌔圏内（バス・電車で2時間以内）でありながら、ユネスコに登録された「秩父祭」に代表される歴史や伝統文化、素晴らしい自然、人情にあふれた地域です。

歴史の教科書の中では、「和同開珎」「秩父事件」などが有名で、地学の面では〝日本地質学発祥の地〟として「日本ジオパーク」にも選ばれています。また今でも人気が続いているアニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」や映画「心が叫びたがっているんだ。」「空の青さを知る人よ」の舞台であるアニメの聖地でもあり、日本全国で歌われている卒業ソング「旅立ちの日に」の発祥の地でもあります。

また、風光明媚で豊かな自然が残り、四季を通じた観光要素も多くある地域で、さらにはノスタルジックな街並みが残っており、昨今の昭和レトロブームもあり老若男女問わず、人気が高まっています。

■教育民泊70軒

民泊では、約70軒の登録家庭が1軒あたり3～4人の少数単位で生徒たちを迎え、地域独特の生活を体験できます。お預かりした生徒さんは、受け入れ家庭の方と料理を一緒に作り一緒に食事をすることはもちろん、家業体験なども含め常に一緒に活動します。お互いにコミュニケーションを取りながら活動することで、普段では得難い経験が得られるでしょう。民泊で生徒たちをお預かりしている間はほんものの家族同様、家庭の一員として、自然が多い秩父ならではの生活体験や親密なコミュニケーションを図りながら、さながら親戚の家に遊びに来たかのような自然体の体験ができることをお約束いたします。

■体験プログラム

田植え体験や稲刈り体験、貴重な地質を生かしたジオパークを巡るガイドツアーが人気です。学校単位やクラス単位で柔軟に対応でき、時間もツアーに合わせて調整可能と、学校のニーズに合わせた自然、文化を体感できる豊富な体験プログラムを多数ご用意しています。また、国指定伝統的工芸品「秩父銘仙」の染めを手軽に体験できる型染め体験など室内のプログラムもあり、天候を気にせずできる体験メニューもございます。

■コーディネート組織

「一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社」は、行政とも密接に連携しており、秩父医師会や秩父消防本部にも受け入れの際には事前にお知らせし、万が一の緊急時にも、地域ぐるみで対応する準備もしています。その他、学校や家庭が望むニーズにも可能な限り対応いたします。

バスでは修学旅行で人気の高い国会議事堂から約90分、東京ディズニーランドから約110分。首都高・関越道経由で花園IC下車、国道140号を利用。鉄道ではJR山手線池袋駅から西武鉄道・特急ラビュー号で西武秩父駅まで約80分。都心から一番近くて、一度に約100人まで受け入れ可能なのが秩父地域の民泊です。

東京への修学旅行や林間学校の1行程として〝ちかいなか秩父〟の民泊を取り入れ、人情あふれる田舎の生活体験をしてみませんか。

秩父の雄大な自然を肌で感じ、学習できるジオパークツアー

全員で料理して「いただきます」

みんなで田植えを体験

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
〒368-0032 埼玉県秩父市熊木町9-5
秩父ビジネスプラザ
TEL 0494-26-6260　FAX 0494-26-7331
E-mail:info@chichibu-omotenashi.com
URL https://www.chichibu-omotenashi.com/